

府中市議会 第18回議会改革特別委員会会議録

令和元年7月26日午後1時1分、議会改革特別委員会を第二委員会室において開会した。

1 出席委員

委員	長	三藤毅	副委員	長	本谷宏行
委員		加納孝彦	委員		安友正章
委員		土井基司	委員		加島広宣
委員		岡田隆行			
副議長		大本千香子			

1 欠席委員

なし

1 説明のため出席した者

なし

1 事務局及び書記

事務局長 赤利充彦

1 本日の会議に付した事件

(1) 議員定数について

(2) その他

~~~~~

午後1時1分 開会

1 議員定数について

まず初めに、各会派での協議結果を確認した。

(創生会)

- ・人口はともかく、面積を考えると18人は必要。
- ・人口減少で20人では、同一規模の市と比べ、やや多め。
- ・常任委員会数は3委員会必要。議論できる人数として、各委員会6人～7人必要。
- ・民意を反映するため、若い世代を呼び込むためには現状維持。
- ・6人×3常任委員会+議会運営委員会、広報広聴特別委員会、議会改革特別委員会を考えると、18人が減らす限度。
- ・定数を削減するのであれば、議会改革をしっかりと行っていく必要がある。
- ・無投票を受けて市民の声を気にするなら反対。今後も付きまとう議論となる。
- ・前回選挙が無投票であったことを考えると、削減しなければ市民の理解が得られない。
- ・報酬額、政務活動費を増額するのであれば、定数の減による調整は必須。

- ・定数削減は当選するために必要な得票数が上がり、なり手不足の解消に逆行するので、慎重な議論が必要。

- ・削減により、政策提言機能、監視機能の低下になってはいけない。

- ・報酬、定数の削減は議会力、自治力を低下させ、多様な層を議員から遠ざげる。

(市民クラブ)

- ・今回なり手不足解消の議会改革ということで様々な取り組みをこれから進める。この取り組みを進め、成果を上げていく中で、定数については、市民の理解を得ていこうということで、現状では、現行通りという意見となった。

(公明党)

- ・議会の機能として何名が必要なのか、3委員会×4人+議長の13人が限度かと考える。

- ・前回選挙は無投票であったということからして、定数は16人とした。

- ・定数20人で20人が立候補した場合にも選挙が行われ、1人が落ちるというシステムがあれば、20人でよいと思う。

(日本共産党)

- ・定数問題に民意を反映させることは大切。全国市議会の調査では、5万人未満で17.9人、平均は18人位となっている。隣の庄原市は、面積は府中の6倍で同じ20人。削減により、住民の声が反映しにくくなるということにもなる。

- ・市民アンケートも大事にしなければならない。103人のうち76人が削減すべきとある。

- ・なり手不足の観点からだけでは、議員定数はなかなか考えられない。議会改革を丁寧に行い、住民に理解してもらうことが必要。

続いて、意見交換を行った。主な意見は次のとおり。

- ・現状維持を主張した。削減すればするほど、投票率が下がると思う。

- ・削減により、立候補できない地域がでてくる、住民の関心がますます低くなっていく可能性がある。

- ・無投票になる前から、議員の数が多、削減すべきと言われてきた。無投票になったから削減するように言われたのではない。

- ・議会や議員の役割、行っていることを住民に示していくことが大切。結果として無投票になるかどうかはそれほど重要ではないのではないかと思う。

- ・府中市議会としては、どういう議会を目指すのか。

- ・二元代表制の議会が弱体化する可能性がある。現状維持としたからと言って、無投

票となるとは限らない。

・無投票を避けるために削減することが二元代表制を弱体化することはわかっているのだけれど、市民の声があって、どこの自治体でも削減してきたという経過がある。

・無投票と定数が多いというのは、直接関係ないと思う。

・NHKアンケートから見ると、定数削減は議員の固定化につながり、人口の少ない地域から立候補しにくくなる。

・シンプルに、今の定数20人が適正なのかどうかを検討すべきである。

・委員会は2つでは無理、3つが適正。今の建設委員会は6人、議論ができていないのか。

・二元代表制として執行部に対峙するという事となると、現状の定数よりも多くないと、力関係は執行部側に傾いている。今の人数でも力を発揮するには充分ではないと思う。

・「無投票だから」というが、それにより議員数を減らすと、当選するための得票数が上がる、そうすると、ますます若い人たちが出られなくなる。議会改革にならなくなる。定数を維持しろと言うのは、若い人たちが入ってこないと民意が反映できない。民主主義の根幹が崩れる。アンケートはあくまでも参考資料。

各会派の意見を持ち帰り、会派で再度考え方を整理してくることとした。

~~~~~

○委員長（三藤毅君） それでは、次回の日程について協議いたします。

〔意見交換〕

○委員長（三藤毅君） それでは、今回は8月9日（金）14時から行います。

以上で議会改革特別委員会を散会いたします。

午後2時45分 散会

府中市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに押印する。

令和元年10月29日

府中市議会改革特別委員会  
委員長 三 藤 毅